都筑 ウロデル 通信（2005年秋号）

（2005年9月12日、木村泌尿器皮膚科発行）

前立腺特異抗原は前立腺ガンのマーカーですが、ガン細胞特有の物質ではありません。

最近は住民健診や人間ドックで，血液検査で前立腺特異抗原（PSA）が調べられるようになり、無症状で見つかる前立腺ガンが増えています。
前立腺特異抗原というのは，前立腺の細胞の中だけで作られている蛋白のことです。免疫反応を起こすものを抗原、その抗原を処理するために体の中で作られた物を抗体といいます。いろいろな病気を起こすウイルスは抗原、その病原菌をやっつけるために体の中で作られるのが抗体です。抗体は本来自分の体にないものが入ってきたとき、それを攻撃するために作られます。そして、抗体は抗原とちょうど鍵と鍵穴のようにぴったりと結合します。人間の前立腺をすりつぶした物を兎に注射しますと、人間の蛋白質は兎にとって異物ですから、それに対する抗体を作ります。前立腺はいろいろな蛋白から出来ていますので、前立腺をすりつぶした物を注射された兎も多数の抗体を作ります。この中には、前立腺だけでなく、肝臓や皮膚にもある蛋白の抗体もあります。そして、前立腺だけに結びつく抗体を探し当てると、この抗体が結合する相手は前立腺の中だけにしかない蛋白ということになります。この蛋白を前立腺特異抗原と呼ぶわけです。つまり、前立腺特異抗原はガン細胞だけが作る物質ではないのです。前立腺ガンでは、精液内に分泌されるべきこの蛋白が血中に逆流する比率が増えるので、血液中の前立腺特異抗原の濃度が正常より高くなるのです。

木村泌尿器皮膚科では、インターネットでの皮膚泌尿器科の疾患の解説に力を入れています。
Yahooで「前立腺特異抗原」を検索すると、より詳しい内容を見ることができます。

Q. ウロデルって何？
A. ラテン語で泌尿器はウロロギア、皮膚科はデルマトロギア、皮膚泌尿器を略してウロデルと言います。

（以下、2013年12月に内容を書き換え。）

院長紹介 医学博士 **木村　明**
履歴：　東大卒・東大病院医局長・東大講師・東京共済病院部長
泌尿器科専門医・超音波専門医

院長挨拶
横浜市都筑区センター南駅バスターミナル前の泌尿器科・男性皮膚科クリニックです。
院長の木村明は1953年生まれで、2013年還暦を迎えました。
1978年東大を卒業し、すぐ泌尿器科医になりましたので、泌尿器科に関しては35年のベテランです。
超音波医学会認定専門医でもありますので、結石・頻尿の方には院長自ら超音波検査を行います。
男性皮膚科は特に非露出部を得意としております。
泌尿器科学会認定専門医の院長が一人で診療しております。
皮膚科学会認定専門医はおりません。
得意分野を明確にするため、2013年、診療科目を泌尿器科・皮膚科から、
泌尿器科・男性皮膚科に変更しました。